

岸本誠一（きしひと） 經濟學者、經濟學博士。明治二十五年七月五日岡山縣生れ、昭和五十八年四月五日歿（一九〇二—三三）。大正十四年東京帝國大學經濟學部卒。東京高等師範學校教授等を経て、昭和二十一年京都帝大教授。近代經濟學とマルクス經濟學を系統一解説として著名。

著書『新説を採る』（合著・東京日日新聞社經濟部編、昭和十年八月）  
『二十五年日本評論社』、『戦後經濟學の課題・2』（合著、昭和二十一年十一月）  
『二十五有斐閣「經濟學選書」』、『回想の二天清』（合著

・谷川徹二編、昭和二十二年一月十五日文化書院）等。